

13. フリオの2度目の情熱

大学生のフリオはサッカー選手を目指していましたが、交通事故で大けがをして、夢を諦めなければなりませんでした。しかし、そんな中、フリオはギターと出会います。そして、フリオは・・・。

スペインのマドリードの少年、フリオが初めて好きになった少女の名前はマリアでした。フリオは「アベ・マリア(Ave Maria)」が歌いたくて、教会の聖歌隊に入ろうとしました。しかし、教会の司祭は、彼の歌を聞くと、「君は歌うよりサッカーをした方がいいよ」と言って、フリオを聖歌隊に入れませんでした。

フリオは子どもの頃からサッカーが好きだったので、その後は、ますますサッカーに熱中しました。彼はいつも人々の中心にいるのが好きでした。そこで、サッカーでもゴールキーパーを選びました。

学校のサッカーチームでは、フリオは、自称「学校の歴史の中で一番のゴールキーパー」でした。大学でも法律を学びながら、サッカーを続けました。そして、世界で最も有名なサッカーチームの一つであるレアル・マドリードの青年チームに入ることができたのです。

フリオは、プロのサッカー選手として、将来が期待されるようになりました。しかし、そんな時突然、彼のサッカー人生は終わってしまいました。20歳の誕生日の前の夜、交通事故で大けがをしたのです。この事故で背骨の神経が傷つき、フリオは胸から下の感覚がなくなってしまいました。その状態から回復して、再び歩けるようになるまでに2年かかりました。

フリオにとっては最も不幸な日々でした。しかし、看護師からもらった1本のギターがフリオを救いました。看護師は、ギターの練習をすると指に力が付くと考えたのです。ギターを弾きながら、フリオは短い曲や歌詞を書き始めました。初めのうち、フリオの観客は父親と母親だけでした。フリオは二人に、「僕はいつか、大きな音楽祭で歌うよ」と言っていました。

1968 年、25 歳のフリオは、実際にスペインのベニドルム音楽祭で優勝しました。そして、その時の歌、自分で作詞作曲した「人生は同じように続く (La Vida Sigue Igual)」で、プロの歌手としてデビューしました。フリオのデビュー曲はスペインの音楽チャートで 1 位になり、多くの国民に愛される大スターになりました。その後、フリオの歌がスペインだけでなく、世界中の国々で愛されるようになったことは、皆さんがご存じの通りです。

フリオ、すなわちフリオ・イグレスias (Julio Iglesias) は 14 カ国語で 80 枚以上のアルバムを出し、世界中の 600 都市で 5,000 回のコンサートを行い、3 億枚以上のレコードが売れました。3 億枚というのは、ビートルズ (The Beatles)、エルビス・プレスリー (Elvis Presley)、マイケル・ジャクソン (Michael Jackson) の次に多い記録です。フリオは、「世界で最も売れたラテンシンガー」としてギネスブックに記録されています。

「初めてギターを弾いて、私は音楽を知った。そして、音楽への情熱が私の人生になった」と、フリオは後に言っています。サッカーから音楽へ。フリオの二つの情熱の間には、交通事故による大けがとの闘いがありました。

フリオの歌には愛の歌が多いのですが、人生を歌ったデビュー曲には、大けがとの闘いが描かれています。

「苦しみと喜び 戦いと平和 人生にはいつも生きる理由がある 戦う理由がある」
(「人生は同じように続く」より)

単語リスト：

聖歌隊 (せいかたい) Đoàn hát thánh ca
司祭 (しさい) Linh mục
自称 (じしょう) Tự xưng
救う (すくう) Cứu
音楽祭 (おんがくさい) Lễ hội âm nhạc
デビュー Lần biểu diễn đầu tiên trong sự nghiệp (ra mắt)

音楽チャート (おんがくチャート) Bảng xếp hạng âm nhạc
すなわち Tức là
ラテンシンガー Ca sỹ châu Mỹ La tinh
ギネスブック Sách Guinness
情熱 (じょうねつ) Lòng nhiệt tình
描く (えがく) Vẽ nên